

発行計画を立てて、常に記事内容の情報収集を!

それぞれの号でテーマを明確にして、計画を立てましょう。



年間行事予定表を見ながら、子どもたちの活躍の様子や、その時期に保護者と共通理解したいことなどを考え、学級通信の発行計画を立てる。

	4月	5月	6月	7月	8月
1週	学級開き特集 ・担任自己紹介 ・めざす学級像	思いやりの心 —いじめはダメ— ・エピソード	「学び」についての基本的な考え ・学習ルール	1学期の成長特集① ・成長エピソード	林間学校特集
2週	子どもと出会う1週間 ・感動話	運動会に向けて① ・各種目紹介 ・学級の意気込み	学級への貢献 ・エピソード ・貢献心の価値	1学期の成長特集② ・成長エピソード	
3週	学級目標決定 ・決定の過程 ・みんなの願い	運動会に向けて② ・粘り強さ ・励まし合い	スポーツテスト特集 ・目的と実態と	通知表・評価についての基本的な考え ・成長を促す	
4週	遠足でこんな事 ・さすが高学年 ・おもしろ話	運動会直前号 ・当日の見どころ ・縁の下の力持ち	水泳へのチャレンジ ・プール開き	夏休みに向けて ・1学期の成果 ・2学期に期待	

▲発行計画の例

テーマが決まっていると、その時々「これは学級通信に載せよう!」と目を光らせるようになりますよ。



効率よくつくる3つのポイント!

POINT 1

掲載する記事の観点を決める。(編集方針を明確にする。)

発行計画で決めたテーマや右記の観点到した内容で、学級の様子や活動の意図などを各号で紹介する。担任として、子どもたちの活躍を自慢する気持ちで内容を紹介するとよい。

時として、学級内でのトラブルを知らせることがあってもよい。トラブルの事実を正確に知らせることで、それをきっかけに、前向きに取り組む子どもの姿が期待できる。

学級通信の記事そのものが、実は通知表所見の材料になります。日々、子どもの成長に目を向けているので、褒める材料が豊富になります!



観点

- 教育活動のねらいや実施の様子。
- 子どもたちの、学校生活や課外活動などの具体的な場面での成長。
- 子どもへの担任の思いや教育観。

めざす状態

この学級でよかった!



子どもの意識

先生はわたしたちのことをよく見てくれている。



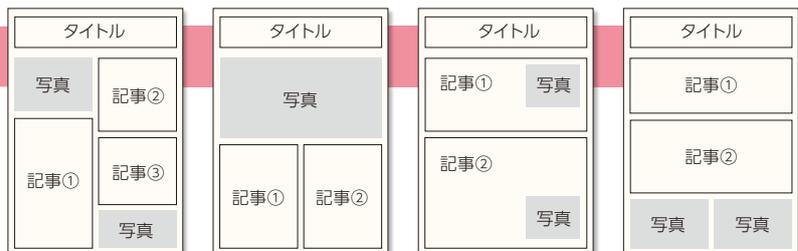
保護者の意識

この担任なら信頼できる。教育活動に協力したい。

POINT 2

フォーマットをつくる。

レイアウトのフォーマットを複数つくっておく。そこに写真を挿入したり、記事を書き入れたりしていくようにすると、効率が良い。



POINT 3

発行日を宣言する。

発行日を決め、周囲に宣言しておく。事前に発行日を知ること、読み手も楽しみにするようになる。すると、どんなに忙しくても意識の中でルーティン化し、時間を確保できるようになる。

〇月〇日に発行します!

